2026 年 7 月改訂　4 版　　日本標準商品分類番号 87929

貯　法	気密容器

承認指令書番号	2.5	農林水産省指令 29 動薬第 3892 号
	5	農林水産省指令 29 動薬第 3893 号
販売開始	2019 年 6 月	

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

犬慢性心不全用及び猫慢性腎不全用持続性ACE阻害剤

要指示医薬品　指定医薬品

ワンハート®錠2.5「MP+」
ワンハート®錠5「MP+」

ベナゼプリル塩酸塩は、投与後、肝臓で活性体であるベナゼプリラートに変換されて効果を示すプロドラッグであり、レニン-アンジオテンシン系においてアンジオテンシン変換酵素（ACE）を阻害します。それにより、血管収縮作用やアルドステロン分泌促進による体液量増加作用を示すアンジオテンシンⅡの生成が抑制されます。

本剤は、アンジオテンシンⅡの生成抑制により、犬の僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全において、血管の拡張と体液量の減少により血圧を下げることで心臓への負担を軽減させます。また、猫の慢性腎不全において、輸出細動脈を拡張させることで糸球体内圧を下げ、尿蛋白の漏出を抑制します。

【成分及び分量】

ワンハート錠2.5「MP+」
本剤 1 錠中（約 125 mg）　ベナゼプリル塩酸塩…… 2.5 mg
ワンハート錠5「MP+」
本剤 1 錠中（約 200 mg）　ベナゼプリル塩酸塩…… 5.0 mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善
猫：慢性腎不全における尿蛋白の漏出抑制

【用法及び用量】

犬：体重 1 kg 当たりベナゼプリル塩酸塩として 0.25 mg ～ 1.0 mg を 1 日 1 回経口投与する。
体重別には、通常次の投与量による。

体重	投与量	
	2.5 の場合	5 の場合
1.25 kg 以上　2.5 kg 未満	½ 錠	
2.5 kg 以上　10.0 kg 未満	1 錠	½ 錠
10.0 kg 以上　20.0 kg 未満	2 錠	1 錠
20.0 kg 以上　30.0 kg 未満	3 錠	1½ 錠
30.0 kg 以上　40.0 kg 未満	4 錠	2 錠

猫：体重 1 kg 当たりベナゼプリル塩酸塩として 0.5 mg ～ 1.0 mg を 1 日 1 回経口投与する。
体重別には、通常次の投与量による。

体重	投与量	
	2.5 の場合	5 の場合
1.25 kg 以上　2.5 kg 未満	½ 錠	
2.5 kg 以上　5.0 kg 未満	1 錠	½ 錠
5.0 kg 以上　10.0 kg 未満	2 錠	1 錠

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと
（一般的注意）
・本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。
・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
（取扱い及び廃棄のための注意）
・小児の手の届かないところに保管すること。
・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
2. 使用に際して気を付けること
（使用者に対する注意）
・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

（犬及び猫に関する注意）
・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
（取扱い上の注意）
・変色が認められた場合には使用しないこと。
・分割した錠剤は気密容器に入れて保管し、速やかに使用すること。

（専門的事項）

① 対象動物の使用制限
・本剤は、子犬及び子猫での安全性が確立されていないので、子犬及び子猫には使用しないこと。
・本剤は、体重 1.25 kg 未満の犬及び猫には使用しないこと。
・妊娠中及び授乳中の動物に対する安全性は確立されていないので、妊娠中及び授乳中の犬及び猫には投与しないこと。
② 重要な基本的事項
犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善
・犬では、必要により適切な対症療法（利尿・強心）を行うこと。重度の慢性心不全に対する本剤の単独投与による有効性は確立されていない。
・犬では、本剤は胆汁及び尿からそれぞれ約半量ずつ排泄されることにより、たとえ腎機能不全を有する犬においても、体内に蓄積される危険性は少ないが、腎前性高窒素血症が認められる場合には腎機能の監視を行い、本剤の投与及び対症療法を慎重に行うこと。
・重度の肝障害のある犬については、本剤投与により対象動物の健康が維持されるなどベネフィットが得られるかどうか獣医師が慎重に判断した上で投与すること。
猫：慢性腎不全における尿蛋白の漏出抑制
・猫では、治療開始時に、血清クレアチニン値の短期の上昇が認められることがある。これは、本薬剤の血圧降下作用により惹起されたものであり、他に臨床徴候等の悪化が認められない限りは治療を中断する必要はない。
・猫における慢性腎不全の尿毒症末期及び急性腎不全の症例に対して本剤投与による効果は確認されていないため、本剤の投与は避けること。
・本剤は主に胆汁に排泄される。糸球体濾過速度が 1.24 ～ 3.78 mL/min 及び血清クレアチニン濃度が 1.0 ～ 5.0 mg/dL の範囲において本剤が体内に蓄積しないことが確認されており、この範囲内では用量調整の必要はない。
・重度の肝障害のある猫については、本剤投与により対象動物の健康が維持されるなどベネフィットが得られるかどうか獣医師が慎重に判断した上で投与すること。
③ 相互作用
・カリウム保持性利尿剤を併用しないこと（特に腎機能低下動物では血清カリウム値が上昇することがある）。
・非ステロイド性消炎鎮痛剤との併用は本剤の降圧作用を減弱させることがある。
・他の血圧降下剤（利尿剤、ベータ遮断剤、カルシウム拮抗剤）や降圧作用のある麻酔剤と併用すると本剤の効果が高まることがある。
④ 副作用
・薬理作用として降圧作用により虚脱あるいはふらつきが現れることがあるので、特に初回投与後は注意深く観察するよう飼い主に指導すること。
・本剤の投与により、ときに嘔吐、軟便、下痢がみられることがある。

【有効期間】
36 カ月

【包　装】
ワンハート錠2.5「MP+」
30 錠（10 錠 × 3 シート）
90 錠（10 錠 × 9 シート）
ワンハート錠5「MP+」
30 錠（10 錠 × 3 シート）
90 錠（10 錠 × 9 シート）

【製品情報お問い合わせ先】
MPアグロ株式会社 営業本部
〒114－0013
東京都北区東田端1－17－42
電話　03－6706－7505
受付時間　9:00－17:00（土日祝日・弊社休業日を除く）

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所にも報告をお願いします。

販売元　MPアグロ株式会社
北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13

製造販売元　日本ビルバック株式会社
京都府宇治市槇島町二十四１６番地

ワンハート錠2.5「MP+」
ワンハート錠5「MP+」
※ワンハートはMPアグロ株式会社の登録商標です。　R4